

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月12日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大谷工業
 コード番号 5939 URL <http://www.otanikogyo.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇 TEL 03-3494-3731
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,392	12.3	381	79.0	416	66.4	185	31.6
24年3月期第3四半期	3,910	△5.2	213	△20.5	250	△16.3	140	△11.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	21.05	—
24年3月期第3四半期	15.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,039	1,786	44.2
24年3月期	4,132	1,622	39.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,786百万円 24年3月期 1,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期（予想）				2.50	2.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	7.2	360	23.3	390	16.1	200	11.5	22.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	8,800,000株	24年3月期	8,800,000株
25年3月期3Q	6,108株	24年3月期	5,608株
25年3月期3Q	8,794,298株	24年3月期3Q	8,794,392株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州政府債務危機や円高の長期化、新興国経済の減速に加えて、アジア諸国との軋轢など懸念材料も多く、先行き不透明な状況の中で推移しました。雇用情勢につきましても、依然として厳しい状況が続いております。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めた結果当第3四半期累計期間の売上高は4,392百万円と前年同四半期比481百万円(12.3%)の増加となりました。

利益面につきましては、売上総利益が1,062百万円と前年同四半期比208百万円(24.4%)の増加、営業利益は381百万円と前年同四半期比168百万円(79.0%)の増加、経常利益は416百万円と前年同四半期比166百万円(66.4%)の増加となり、特別損失として厚生年金基金脱退拠出金156百万円を計上しましたが、四半期純利益は185百万円と前年同四半期比44百万円(31.6%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電力通信部門

電力通信部門においては、売上高・利益ともに増加しました。

その要因として架線金物では、主にコンクリートポールの建替え工事が進んだことにより好調に推移しました。また、通信業界においては、通信網拡大のための光ケーブル敷設工事が好調に推移し、売上高・利益ともに増加しました。

一方、鉄塔・鉄構については、電力向け大型鉄塔の建替え工事等が堅調に推移したことにより、売上高・利益ともに増加しました。

この結果、売上高は3,576百万円と前年同四半期比478百万円(15.4%)の増加、セグメント利益は596百万円と前年同四半期比158百万円(36.1%)の増加となりました。

② 建材部門

建材部門においては、震災復興需要及び耐震補強化工事等、設備投資に回復の動きが見られました。当社においても首都圏を中心に大型物件の施工が進んだことにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は816百万円とほぼ前年同四半期並となり、セグメント利益は33百万円と前年同四半期比9百万円(39.1%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ93百万円減少し4,039百万円となりました。これは、主に在庫30百万円の圧縮と固定資産の減価償却進捗等による減少47百万円によるものです。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ258百万円減少し2,252百万円となりました。これは、主に短期借入金200百万円の返済と退職給付引当金及び役員退職慰労引当金52百万円の減少によるものです。なお、当四半期会計期間末において借入金は300百万円となっております。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ164百万円増加し1,786百万円となりました。これは、主に四半期純利益を185百万円計上したことによる増加と、配当金支払による減少21百万円によるものです。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.2倍と良好な水準にあります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきまして、平成24年10月16日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	512,000	478,342
受取手形及び売掛金	1,366,605	1,386,582
商品及び製品	399,432	389,521
仕掛品	397,617	338,255
原材料及び貯蔵品	129,216	167,692
繰延税金資産	63,943	27,318
その他	13,376	49,458
貸倒引当金	—	△858
流動資産合計	2,882,191	2,836,313
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	184,354	176,012
機械及び装置(純額)	276,808	257,932
土地	498,685	483,185
リース資産(純額)	28,108	15,045
その他(純額)	50,342	54,502
有形固定資産合計	1,038,298	986,678
無形固定資産	37,476	54,753
投資その他の資産		
投資有価証券	78,256	75,677
その他	109,366	98,948
貸倒引当金	△13,085	△13,088
投資その他の資産合計	174,537	161,537
固定資産合計	1,250,313	1,202,969
資産合計	4,132,504	4,039,282

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,059,340	1,175,523
短期借入金	500,000	300,000
未払費用	210,482	143,155
未払法人税等	64,919	—
その他	105,779	128,026
流動負債合計	1,940,523	1,746,705
固定負債		
退職給付引当金	453,458	417,674
役員退職慰労引当金	64,880	48,450
その他	51,566	39,502
固定負債合計	569,904	505,627
負債合計	2,510,427	2,252,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	746,346	909,442
自己株式	△1,045	△1,161
株主資本合計	1,622,472	1,785,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△394	1,496
評価・換算差額等合計	△394	1,496
純資産合計	1,622,077	1,786,949
負債純資産合計	4,132,504	4,039,282

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	3,910,746	4,392,415
売上原価	3,057,268	3,330,332
売上総利益	853,478	1,062,083
販売費及び一般管理費	640,445	680,712
営業利益	213,033	381,370
営業外収益		
受取利息	247	225
受取配当金	2,929	2,766
作業くず売却益	28,441	23,641
不動産賃貸料	5,850	5,680
雑収入	8,062	7,582
営業外収益合計	45,530	39,895
営業外費用		
支払利息	7,697	4,708
雑損失	485	10
営業外費用合計	8,182	4,719
経常利益	250,380	416,546
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,696
退職給付引当金戻入額	—	559
役員退職慰労引当金戻入額	—	14,902
特別利益合計	—	18,157
特別損失		
固定資産除売却損	1,200	11,023
投資有価証券売却損	1,908	42
投資有価証券評価損	11,414	5,758
厚生年金基金脱退拠出金	—	156,699
特別損失合計	14,524	173,523
税引前四半期純利益	235,855	261,179
法人税、住民税及び事業税	64,372	32,253
法人税等調整額	30,846	43,844
法人税等合計	95,219	76,097
四半期純利益	140,636	185,081

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	235,855	261,179
減価償却費	108,627	107,260
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,870	861
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,907	△35,783
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,536	△16,430
受取利息及び受取配当金	△3,176	△2,992
支払利息	7,697	4,708
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,200	11,023
投資有価証券売却損益(△は益)	1,908	△2,653
投資有価証券評価損益(△は益)	11,414	5,758
厚生年金基金脱退拠出金	—	156,699
売上債権の増減額(△は増加)	133,253	△19,976
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130,062	30,796
仕入債務の増減額(△は減少)	△205,962	116,182
その他	△63,547	△23,836
小計	115,782	592,799
利息及び配当金の受取額	3,176	2,992
利息の支払額	△6,496	△4,396
法人税等の支払額	△181,211	△134,929
厚生年金基金脱退拠出金の支払額	—	△156,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,748	299,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△127,371	△116,386
有形固定資産の売却による収入	—	13,638
投資有価証券の取得による支出	△2,230	△981
投資有価証券の売却による収入	9,710	3,264
出資金の回収による収入	—	100
貸付けによる支出	—	△1,532
貸付金の回収による収入	1,860	3,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,031	△98,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
配当金の支払額	△26,082	△22,054
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,146	△13,109
その他	—	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,229	△235,278
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△227,009	△33,657
現金及び現金同等物の期首残高	660,724	512,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	433,715	478,342

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,097,896	812,849	3,910,746
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,097,896	812,849	3,910,746
セグメント利益	437,980	24,433	462,413

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	462,413
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△249,380
四半期損益計算書の営業利益	213,033

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,576,072	816,343	4,392,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,576,072	816,343	4,392,415
セグメント利益	596,036	33,985	630,021

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	630,021
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△248,651
四半期損益計算書の営業利益	381,370

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5. 補足情報

(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	増 減	
				金額	率(%)
電力通信部門	架線金物	2,454,376	2,274,957	179,418	7.9
	鉄塔・鉄構	1,082,024	793,405	288,619	36.4
	その他	39,670	29,533	10,137	34.3
	計	3,576,072	3,097,896	478,175	15.4
建材部門	スタッド	810,171	801,504	8,666	1.1
	その他	6,172	11,344	△5,172	△45.6
	計	816,343	812,849	3,494	0.4
合計		4,392,415	3,910,746	481,669	12.3

セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
電力通信部門	架線金物	2,482,442	2,251,254
	鉄塔・鉄構	981,358	1,056,113
	その他	43,234	35,701
	計	3,507,035	3,343,069
建材部門	スタッド	691,036	700,250
	その他	6,172	11,344
	計	697,209	711,595
合計		4,204,244	4,054,665

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第3四半期会計期間末 (平成24年12月31日現在)	前第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
電力通信部門	架線金物	175,347	140,707
	鉄塔・鉄構	371,754	432,987
	その他	4,892	6,167
	計	551,994	579,862
建材部門	スタッド	282,386	412,535
	その他	—	—
	計	282,386	412,535
合計		834,380	992,398

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。